

令和 2 年度事業報告書

令和 2 年 4 月 1 日から

令和 3 年 3 月 3 1 日まで

公益社団法人 滝川スカイスポーツ振興協会

事業活動

I スカイスポーツに関する人材育成及び啓発普及、並びに地域の発展に寄与する事業（公益目的事業1）

グライダー・モーターグライダーの運航は、4月8日（水）から11月7日（土）まで行った。なお、COVID-19の影響を受け、グライダー施設の使用、グライダー運航を4月18日から5月28日（航空動態博物館）、5月30日（グライダー運航）まで休止した。また、感染予防のため、本年度予定していた多くの事業を中止した。

運航実績は、以下のとおりであった。

（括弧内の増減数は、対前年比）

- ・運航日数：128日（44日減）
- ・運航割合（運航した日数/活動期間の日数）：60%（23%減）
- ・グライダーの飛行回数：1,920回（985回減）
- ・グライダーの飛行時間：894時間（565時間減）
- ・モーターグライダーの飛行回数：85回（205回減）
- ・モーターグライダーの飛行時間：96時間（174時間減）

1 スカイスポーツに関する人材の育成事業

1. 1 操縦指導事業

1. 1. 1 スクール・キャンプ事業

① グライダースクール

- ・サマーレーニングコース

5回実施した。

第1回～第3回は中止した。

延べ参加人数：180名（62名減）

飛行回数：457回（159回減）

飛行時間：267時間（214時間減）

- ・ウィークリーコース

運航休止期間を除き、シーズン中の平日に随時実施した。

飛行日数：47日（2日増）

飛行回数：204回（20回増）

飛行時間：125時間（39時間減）

- ・ウィークエンドコース

運航休止期間を除き、シーズン中の土日祝日に実施した。

飛行日数：53日（10日減）

飛行回数：905回（373回減）

飛行時間：488時間（373時間減）

② グライダーキャンプの受入

- ・社会人の合宿を受け入れた。

7月27日（月）～7月31日（金）

参加人数：のべ22名（5名減）

飛行回数：37回（89回減）

飛行時間：26時間（32時間減）

1. 1. 2 指導者・選手養成事業

① アシスタントインストラクター制度

対象者がいなかったため、実施しなかったが、他団体からの要請で、インストラクターを養成した。

要請団体：NPO九州グライダースポーツ連盟

九州大学航空部

要請者数：1名

試験月日：10月13日

1. 1. 3 審査資格事業

① 特定操縦技能審査

特定操縦技能審査を実施した。

審査件数：16名

② 各種受験に関する指導

- ・航空従事者技能証明等の試験に関する指導及び実地試験を受け入れた。
実地試験には2名受験した
10月13日：自家用（上滑）1名、操縦教育証明（滑）1名が受験し合格した。
- ・日本滑空記章に関する指導及び試験を実施した。
 - A章 4件
 - B章 2件
 - C章 3件
 - 銅章 1件

1. 2 整備支援事業

たきかわスカイパークを利用する航空機に対しての整備支援を行った。

自社機を含む常駐機：28機（1機減）

外来機／出張整備：5機（2機減）

また、無線局登録検査等事業者として、自社機を含む常駐機の航空機局無線機検査業務を実施した。

検査件数：22件（2件増）

1. 3 講習会事業

1. 3. 1 各種講習会の実施（講師派遣）

① 愛好者を対象としたスカイスポーツ講習会の開催

・北海道滑空協会が開催した、北海道滑空協会指導者講習会に機材、施設を提供し、講師を派遣した。

テーマ：異常姿勢からの回復または基礎曲技飛行

主催：北海道滑空協会

協力：北海道スカイスポーツ協会

実施日：10月24日（土）

講師：清水拓智

参加人数：4名

飛行回数：4回

講習内容：スピンをはじめとした異常姿勢からの回復操作の実技を行った。

② スカイスポーツを対象とした各種講習会への講師派遣

・滑空スポーツ講習会に講師を派遣した。

テーマ：ソアリングウェザーと安全

主催：（公社）日本滑空協会

後援：国土交通省 航空局

実施日：12月5日（土）

実施場所：仙台市

派遣講師：日口裕二

参加人数：18名

1. 4 競技会の開催・支援事業

1. 4. 1 滝川ライダーX'Cキャンプ2020の実施

クロスカントリーキャンプを実施し、参加者に対し、ライダーによるクロスカントリーフライトの理論及び実践の場を提供した。なお、実施にあたり、（一財）石狩川振興財団支援助成事業助成金を活用した。

開催期間：9月5日（土）～9月22日（火）

参加人数：延べ56名（20名増）

1. 5 団体連携事業

1. 5. 1 国際交流事業の推進

① 操縦教員の派遣

COVID-19の影響のため、中止した。

② 曳航パイロットの招聘

COVID-19の影響のため、予定していたオーストラリアからの曳航パイロットが、オーストラリア国の出国及び日本への入国ができず、中止した。

1. 5. 2 国内滑空団体との連携

① 最新の情報、一般の人にも認知されやすい内容を心掛け、ホームページ、フェイスブックや掲示板を活用した情報発信を行った。

② 国内外のグライダークラブとの連携

全国クラブミーティングに参加し、各クラブが抱える課題や我が国の滑空界の底上げのための提案などについて、意見交換を行った。

・第8回全国クラブミーティング

幹事クラブ：（公社）日本グライダークラブ

開催時期：12月12日（土） 19:00～21:00

開催場所：zoom によるオンラインミーティング形式
出席者：16 団体 22 名 ※当協会からは、日口裕二理事が出席した。

2 啓発普及事業

2. 1 体験・青少年育成事業

2. 1. 1 児童・生徒を対象とした体験学習の受入

- ① 滝川市内および周辺市町の小学校の児童の体験学習は実施しなかった。
- ② 市内外の学校から児童・生徒の施設見学を受け入れた。
受入小学校数：3校（1校減）
見学者数：93名（48名増）

2. 1. 2 こどもの日イベント「こどもたちに大空のプレゼント」の開催 実施しなかった。

2. 1. 3 青少年会員の活動

今年度参加した青少年会員は、9名（昨年同数）であった。

2. 1. 4 ユース会員の支援

大学生および大学を卒業した後も、社会人クラブでグライダー活動を継続しようとする若手を、ユース会員として登録した。
ユース会員数：39名（10名減）

2. 1. 5 グライダー等による体験飛行会の実施

- ① 滝川市民を対象とした体験搭乗会は、実施しなかった。
- ② 一般市民を対象とした体験搭乗を実施した。
実施期間：6月1日（月）～11月7日（土）
搭乗者数：402名（442名減）
- ③ 滝川市ふるさと納税への協力
滝川市ふるさと納税の返礼品として、グライダー体験
飛行券を提供し、寄付された方々に搭乗券を送付した。
体験者数：1名（8名減）

2. 1. 6 「そらぶちキッズキャンプ」の支援

（公財）そらぶちキッズキャンプを支援するため、キャンプが実施している「そらぶち野菜ボックス・チャリティ販売」のおたのしみ品の一つとして、体験搭乗券を提供した。

2. 2 文化振興事業

2. 2. 1 古典グライダー活用事業（ヴィンテージグライダー復旧プロジェクト）

今年度予定していたイベント等が中止となったため、事業は実施しなかった。

3 地域の発展に寄与する事業

3. 1 イベント開催・支援事業

3. 1. 1 イベントの開催

- ① サマースカイフェスタ 2020 の開催
中止した。

3. 1. 2 航空祭の支援

道内各地で予定されていた航空に係るイベントは、中止された。

3. 2 観光客受け入れ事業

- ① 海外からの体験搭乗はなかった。
- ② インターネットを経由して、旅行会社から 194 名の体験搭乗の依頼があった（27 名増）。

3. 3 スカイパーク施設の管理・運営事業

滝川市から委託されて、たきかわスカイパークの指定管理者として、施設運営及び事業を展開した。

3. 4 情報提供事業

たきかわスカイパークを利用する航空機、及び周辺上空を飛行する航空機に対して、気象情報や航空交通情報の提供等、必要な飛行支援を行った。

II 利用者への施設提供事業（その他事業1）

1 利用者への施設提供

たきかわスカイパーク利用者への各種の施設提供を、実施した。

宿泊施設の利用状況

- ・利用者数：延べ101名（114名減）
- ・延べ宿泊日数：473日（288日減）
- ・1人当たりの平均宿泊日数：4.7日/名
（1.2日/名増）
- ・施設稼働率：17%（5%減）

航空安全

スタッフ、会員及び飛行関係者の安全意識を喚起して、危険に対しての的確な見積りと、基本的で確実な危険回避動作を実施し、航空無事故を達成した。

無事故日数： 2,132日（令和3年3月31日）

法人運営

1. 会員の入会促進

体験飛行や施設見学者等に、個人会員の入会勧誘を積極的に進めた。

新入会員数：10名（2名増）

会員の入退会状況

令和3年3月31日現在

会員種別		H28	H29	H30	R1	R2
正会員	個人	121 8 22	114 8 15	113 6 7	112 9 10	108 10 14
	法人	17 1 0	17 0 0	17 0 0	18 1 0	17 0 1
特別会員	個人	3 0 1	3 0 0	3 0 0	3 0 0	2 0 1
	団体	2 0 0	2 0 0	2 0 0	2 0 0	2 0 0
小計		157	143	136	136	129

小数字 左：入会者数、右：退会者数

名誉会員	2	1	1	1	1	
賛助会員	個人	11	20	25	25	32
	法人	6	3	3	2	1
ユース会員	27	34	39	44	29	
青少年会員	2	3	6	6	8	
総計	206	204	210	215	200	

2 理事会・総会等

- ・第1回理事会（理事会の決議の目的である事項の提案による決議）

提案月日：令和2年4月30日（木）

決議事項：新規加入会員及び退会者について、令和元年度事業報告書及び付属明細書の承認、令和元年度財務諸表及び関連書類の承認、規程の変更（案）について、相談役の解任（案）について

決議方法：同意書による見なし決議を行った。同意書8（理事）、確認書2（監事）

- ・第2回理事会

開催月日：令和2年5月26日（火）

場 所:たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

報告事項:理事の職務の執行状況について、常務理事のご逝去に伴う退任について

決議事項:常務理事の選任について

出席等:議決に必要な出席理事の数4名、出席7名

議決に必要な出席監事の数1名、出席2名

・定時総会

開催月日:令和2年5月26日(火)

場 所:たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

報告事項:令和元年度事業報告書及び付属明細書、令和2年度事業計画及び収支予算

決議事項:令和元年度財務諸表および関連書類の承認、会費規程の改訂、役員を選任の承認

出席等:定足数67、出席会員議決数87、出席理事7名、出席監事2名

・臨時理事会

開催月日:令和2年5月26日(火)

場 所:たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

決議事項:会長、副会長、常務理事の選任

出席者:議決に必要な理事の数4名、出席7名

議決に必要な監事の数1名、出席2名

・第3回理事会

開催月日:令和2年11月25日(水)

場 所:たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

報告事項:令和2年度事業の執行状況、令和2年度予算の執行状況、職務の執行状況

決議事項:新規加入会員及び退会者の承認

出席等:議決に必要な出席理事の数4名、出席7名

議決に必要な出席監事の数1名、出席2名

・第4回理事会

開催月日:令和3年3月25日(木)

場 所:たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

報告事項:新規加入会員及び退会者、令和2年度決算見込

決議事項:令和3年度事業計画書及び収支予算書の承認、積立資産の変更の承認、役員を選任の承認、「定時総会の日時及び場所並びに目的である事項等」の承認、規程の変更の承認

出席等:議決に必要な出席理事の数4名、出席7名

議決に必要な出席監事の数1名、出席2名

3 公益社団法人の運営に関する情報公開

ホームページ等を活用して、当協会の運営に関する情報公開を進めた。

4 業務執行体制の整備と強化

理事7名、監事2名の体制で業務管理体制を維持するとともに、ボランティアスタッフの協力の下、各種事業を円滑に実施した。

5 その他

① 令和3年7月に開催を予定している「サマースカイフェスタ2021」に関し、「北門信用金庫まちづくり基金事業」に応募し、採択された。

助成金贈呈式:11月26日(木)

② 「グライダーの街たきかわ」をPRするために、JR滝川駅駅前広場に、グライダー(ICA IS-28B2)を展示した。

展示期間:4月2日(水)~11月5日(木)

③ 一般市民を対象とした講演会に参加し、グライダーの紹介を行った。

・深川市一已地区町内会連合会

日時:10月23日(金)10:00~11:00

場所:リリエンタール

演題:「グライダーの紹介」

- 講師：石井誠
・北竜町高齢者大学
日時：2月18日（木）10:00～11:30
場所：北竜町農村改善センター
演題：「大空の魅力～グライダー」
講師：石井誠

- ④ COVID-19感染拡大に伴い、施設の閉鎖、グライダー運航の休止の措置をとった。さらに、一般市民の外出自粛、旅行敬遠などにより、来場者が減少したことから、飛行回数や宿泊者が減少し、収入が大きく落ち込んだ。これを補うため、経費節減に努めると同時に、取捨選択による効率的な資源の活用を図った。
- ⑤ COVID-19の予防のため、以下のような対策を講じた。
- ・職員のマスク着用と来場者へのマスク着用依頼
 - ・来場者に体温測定依頼
 - ・館内入場時に来場者に手指消毒の依頼
 - ・館内およびグライダーの定期的な消毒
 - ・定期的な換気
 - ・リリエントールのテーブル・椅子を少なくし、使用者の間隔確保
 - ・来場者に北海道コロナ通知システムへの登録依頼

※令和2年度事業報告書には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和3年4月
公益社団法人 滝川スカイスports振興協会